

## 多様な人材の活躍・共生促進

### 現状・課題

- 人口減少・少子高齢化により経済等の中心的な担い手の不足が深刻化する中で、**外国人材も不足する見通し**

[和歌山県の外国人材不足数] (2030年) 700人不足、(2040年) 2,600人不足

※独立行政法人国際協力機構(2022年3月)「2030/40年の外国人との共生社会の実現に向けた取り組み調査・研究報告書」等を参考に県で算出

- 国内外との競争がある中で、外国人材の獲得・定着を図るとともに、日々の生活を健康かつ安全に過ごしてもらうためには、**受入環境の整備が必要**

[外国人材の雇用支援に関するニーズ]

回答事業者のうち3分の1が「外国人材雇用に関する企業向け相談窓口の設置」を選択(回答中最多)

※県調査(2023年度)による

[在留外国人の日本語力]

在留外国人の4割は日常会話が難しく、1割強は日本語があまりわからないレベル

※出所: 出入国在留管理庁「令和3年度在留外国人に対する基礎調査」

### 取組

- 外国人材など様々なバックグラウンドを有する**優秀な人材がやりがいと魅力を感じ、安心して働くことができる環境を創出することで、県内の就職と地域への定着を促進し、労働力不足の解消を図る**

#### ① 外国人材の獲得・定着促進

##### ● 外国人材のマッチング促進

- ・海外でのジョブフェア開催
- ・外国人材と県内事業者のマッチング支援
- ・相談対応や啓発を行うサポートデスク運営

##### ● 外国人材の受入環境の整備

- ・県内事業者における外国人材受入体制整備を支援



海外でのジョブフェアの様子(イメージ)



外国人材が就労する様子(イメージ)

#### ② 生活等に必要な日本語学習環境の充実

##### ● 外国人等を対象とした日本語学習環境のさらなる整備

### 寄附金の使途

- 日本語学習教室の運営費用



日本語学習の様子(イメージ)